

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	西巣鴨・学びの保育園
活動日時	令和7年 4 月 25 日(金)
クラス名(年齢)	0 歳児クラス
年間テーマ	光

1. 活動テーマ

<テーマ>

光に気づく

<テーマ設定理由(子どもの姿)>

子どもが木漏れ日を触ろうとしたり、玩具に反射した光を触ろうとしたりと、日常の光に興味を示す姿があった。

2. 活動スケジュール

光を反射する玩具を陽が差す場所に置き、光の存在に気づく。

3. 環境をデザインする(活動のために準備した素材や道具、環境設定)





- ・廊下に陽が差す時間帯に移動
- ・ジュエルゴマ ・マット(うつ伏せで遊べるように)

4. 探求活動の実践

<活動内容>

廊下で遊ぶ際にちょうど陽が差す場所があるので、そこにジュエルゴマを置いて子どもの反応や気づきを見守る。反射した光を触ろうとしてみたり、光っている玩具を確かめようとしたりする。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの声・姿	写真
遊んでいる最中に保育者がジュエルゴマに光を反射させ、「なんだろうこれ」と保育者が壁を指差すと、壁に小さな色とりどりの光がうつっていることに気づいた。	
近づいて触れようとしてみる。ジュエルゴマに触れると光が揺れ、保育者の顔をみたので「動いたね」と共感する。	
反射してキラキラと光るジュエルゴマに気づき、触って確かめてみる。	
保育者がジュエルゴマの場所や角度が変わると、壁や天井に反射した光がうつり、動く目で追っている。「きれいだね」というやりとりをして、嬉しさを共有する。	
5. 振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)	
職員会議で振り返りを行う。 普段過ごしている保育室には光が直接差すことは無いいため、木漏れ日や反射した光を見つけると珍しそうにしていた姿が見られた。何度も光を触ろうとはつかめないことを不思議に思って何度も挑戦していた。子どもにとって身近なものだが、「なんだろう」というような子どもの表情やしぐさを大事にして、次につなげていきたい。	

